

アイリスLetter



2016年3月18日発行
第11号
広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

3月11日の東日本大震災から5年目を迎えました。各メディアにおいては当時を振り返るもの、現在の人々や復興の状況をレポートするものなど、数多くの報道がありました。当時東北から広島に転勤してこられた方が、「ここはまるで別世界の様です。同じ国とはとても思えません。」と驚嘆されたことばを忘れることが出来ませんが、ここに住む私達でも当時の震災時の映像が流れると、何か不安な気持ちがおそってきます。5年目を迎え、その日のことを思う当事者の方たちの思いはどんなであろうかと思ひます。さて、それらのニュースの中に世界各地でこの日を覚えて行われたいくつかのコンサートの報道がありました。こんなに多くの海外の方たちが今日も日本のことを覚えていてくれることに感動を覚えました。その中に、ドイツで、3月10日、あの有名なベルリンフィルハーモニーオーケストラのメンバーと一緒に演奏会をもった、福島県相馬市の子どもオーケストラが紹介されていました。これはイル・システムという音楽教育による子ども支援です。ベネズエラの中の貧困や犯罪の多い地域で、そうした環境のために将来への希望を持たない子どもたちが、自主的な訓練と子ども同士が教え合い向上することを通して夢や希望を持てるように、と始まった教育システムです。日本ではこの度の震災によって心の傷ついた子どもたちを力づけるために震災後始まり、150人程が活動しています。5年前、原発事故の発生のため来日予定演奏家のキャンセルが続く中、来日公演を決行したベルリンフィルのメンバーが、帰国後ドイツでチャリティーコンサートを行なった時の資金等が、このオーケストラの発足につながったとのこと。この度はそのお礼と被災地の報告のためにメンバーの一部が渡独し、ベートーベンの交響曲第5番や、相馬盆歌などを披露し大きな喝采を受けたとの事です。

災害は人々を苦しめ社会を引き裂きますが、一方ではこの様にそれがきっかけとなって人々が繋がっていく人間の姿があります。現代の世界は、国や民族の間の対立によって混迷を深めている部分がありますが、その中で、何か人と人との間を繋ぐ架け橋となる働きに関わるものとなれたら幸いだと感じました。

いよいよ今年度も終業を迎えました。色々なことがございましたが、皆さまのご協力のもとで、生徒たちの1年の成長が守られてきましたことを心より感謝いたします。

聖書のことば

「実にキリストは私たちの平和であります。二つのものを一つにし、ご自分の肉において敵意と言う隔ての壁を取り壊し、規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。」

エフェソの信徒への手紙2章14～15節

保護者（生徒）アンケートのご報告

12月に実施した保護者（生徒）アンケート結果につきまして、別紙プリントでお知らせいたします。委託業者によりますと、満足度を示すポイントの数値は、1を示せば十分なレベル、0.4以上は肯定値、0～0.4は要注意とのことでした。25項目中、1を超えたのは10項目（生徒18）、0.4以上13項目（生徒5）、0～0.4が2項目（生徒2）で、マイナスはありませんでした。要注意項目についても、ここ2年間徐々に上がってきているとの事でした。「本校入学を親戚・友人らに勧めるか？」については、通常60%あれば良く、中高で70%を超えることは珍しいとの事でした。また、一般に6カ年一貫校では中1が高くその後低下し、高校で戻していくパターンとなり、本校もその例にもれませんが、本校の特徴は例年高3での評価が非常に高くなっているとのことでした。今後も改善すべき点にしっかり取り組んでいきたいと思ひます。ご協力ありがとうございました。

(校長)

2016年度大学入試合格状況（3/11 現在判明分）

3月11日(国公立前期合格発表)までの合格状況(過年度卒業生を含む)です。それぞれが納得のできる進路を選び、しっかり歩いてほしいと願っています。

国公立大学（推薦・AO含む） 前期までの合格者数 64名

東京	1	一橋	1	北海道	3	大阪	2
お茶の水女子	1	東京農工	1	名古屋	1	神戸	2
広島	21	国際教養	1	静岡	1	大阪教育	1
岡山	4	山口	6	香川	2	宮崎	1
鹿児島	1	兵庫県立	1	広島市立	3	県立広島	7
山口県立	1	福岡県立	1	福岡教育	1		

私立大学（推薦・AO含む）

早稲田	8	慶応	5	上智	1	東京理科	2
明治	4	青山	4	立教	8	中央	7
法政	10	同志社	25	立命館	23	関西学院	27
関西	12	学習院	1	北里	2	国士舘	1
駒澤	1	昭和	1	昭和女子	2	昭和薬科	1
清泉女子	1	実践女子	1	白百合女子	1	女子美	1
成蹊	1	成城	1	多摩美	3	津田塾	1
東海	6	東京家政	1	東京工科	1	東京女子	5
東京農業	3	東京薬科	4	東京歯科	1	東洋	1
日本	6	日本女子	6	星薬科	1	武蔵野	2
武蔵野美術	6	明治薬科	1	横浜薬科	1	神奈川	1
関東学院	1	鶴見	1	東洋英和女子	1	フェリス女学院	1
名古屋外国語	4	京都女子	4	京都薬科	4	同志社女子	5
龍谷	1	関西外国語	1	大阪芸大	3	大阪医科	1
大阪歯科	1	大阪薬科	3	近畿	9	甲南	2
神戸学院	2	神戸薬科	4	川崎医科	1	川崎医療福祉	1
エリザベト音	2	広島経済	1	広島工業	2	広島修道	21
広島女学院	17	広島文化学園	1	広島文教女子	2	安田女子	28
広島国際	18	日赤広島看護	8	広島都市学園	2	九州栄養福祉	2
純真女子	1	福岡	4	防衛大学校	1	水産大学校	1

海外の大学

University of Mount Union



その他



北海道エコ動物自然専門学校	1	大阪航空専門学校	1
---------------	---	----------	---

(進路指導部)

高校小論文コンクール

2月16日(火)7限目のLHRにおいて、高校小論文コンクールが行なわれました。

高1は内山節「里の思想」の中から『盆栽』を課題文とし、グローバル社会の中でローカル性を見失うことの危険について800字の小論文を書きました。

高2の課題文は昨年と同じ岡真理の『文化が違う』とは何を意味するのか?』でした。

2学年とも共通するテーマはグローバル社会。私たちがこれから生きていくことになる社会について、考えを深めるきっかけの一つとなればと思います。

各学年の入賞者は次のとおりです。

[高2]

最優秀賞 N・S (2-E)
優秀賞 Y・K (2-C)
佳作 F・N (2-C)
佳作 M・H (2-C)

[高1]

最優秀賞 M・H (1-B)
優秀賞 N・A (1-A)
佳作 A・C (1-B)
佳作 F・K (1-D)
佳作 S・H (1-D)

(国語科)

高2 英語エッセイライティングコンテスト

2学期末に第12回校内英語エッセイライティングコンテストが行われ、高2全生徒が参加しました。与えられた3つのトピックのうちから1つを選び、110分の制限時間内で200~400語の英語で自分の考えを表現しました。読み応えのある作品が多く審査は大変でしたが、最優秀賞、優秀賞が下記の通り選ばれました。

Best Essays (最優秀賞)

2-A M・A
2-B I・N
2-D K・R M・M
2-E Y・A

Outstanding Essays (優秀賞)

2-A K・R O・M
U・H
2-B G・M
2-C K・S Y・K
2-D H・K K・A
2-E F・R N・S
U・A

(英語科)

高校生徒会執行委員会 選挙結果

今年度、初めての取り組みとして高校生徒会執行委員を、中3の選挙によって決めました。これは、「より充実した行事を目指すこと、中学生との連携をもっと取りたい。」という執行委員の思いを生徒総会で伝え、賛成を得て決まったものです。この思いに答えて、立候補し立派な演説をしてくれたことに執行委員一同、とても嬉しく思っています。

もうすでに新執行委員と共に、来年度に向けて少しずつ動き始めています。

2月20日(土)に行われた投票の結果は、以下の通りです。

3-3 T・R
3-4 F・H
3-4 F・A
3-5 F・A
3-5 O・A

(高校生徒会)

使用済み切手収集のご報告

中学礼拝委員会の呼びかけで収集した使用済み切手の今年度の集計結果は、25,586枚でした。保護者の皆様もご協力ありがとうございました。これらの切手はJOC S(日本キリスト教海外医療協力会)を通して換金され、アジアの貧しい国々への医療援助に使われます。なおこの活動は、毎年行われていますので、これからもどうぞご協力をよろしくお願いいたします。



(中学礼拝委員会)

『ガリラヤの風』（宗教活動のまとめ）配布

今年度も、本校の教育活動の根幹であるキリスト教教育の結実の一部を小冊子として皆さまにお届けいたします。キリスト教強調週間主題講演・生徒の感想、生徒・先生の礼拝など、聖書の言葉や講師の先生との出会いを通して、豊かに成長している生徒たちの姿に接していただけたと思います。ぜひお子様と共にご一読ください。

(宗教教育委員会)

バングラデシュの学校支援募金のご報告

中学YWCA部では毎年、バングラデシュの貧しい子どもたちの学校を支援する募金を売店で行っています。今年度も年間学校維持費5万円を超える50,990円が集まりました。匿名の先生からのお志し3万円を加えて80,990円を先方にお渡しします。ご協力を感謝申し上げますと共に、次年度も引き続きよろしくお願ひします。

(中学YWCA部顧問)

保健室だより (11)

国立感染症HPによると、日本列島全都道府県にインフルエンザ警報がでています。

3月4日現在、インフルエンザ治癒証明書を学校に提出した人数は、中1→40名(全250名中16%)、中2→39名(全201名中19.4%)、中3→22名(全227名中9.7%)、高1→30名(全224名中13.4%)、高2→17名(全220名中7.7%)でした。低学年ほど、罹患者数と治癒証明書は多いようでした。

インフルエンザは、学校感染症に指定されています。学校など、人の密集した集団での蔓延を防ぐために、登校してはいけないと、法律で決められています。授業に出席できない、勉強がわからなくなってしまうなど、不安もあるかと思いますが、そこ

は目をつぶって、しっかり休むようにしてください。自分で予防できることは予防し(うがい、手洗い、マスク着用、予防接種、人込みの多いところを避ける、免疫力をつける、十分な睡眠と栄養をとる、蓄積疲労を避けるなどの工夫)、無理して登校しないようにしましょう。

最後に、これはお願いですが、発熱したら、最低1日は様子を見るなどの余裕を持ち、また、日頃気になっている体の症状は、春休み中に治しておきましょう。

(保健室)

心の健康 (11)

カウンセリングルームでは「親子関係」や「家族」についての相談申し込みはほとんどありません。多いのは友人関係を主とした人間関係や自分の性格、また勉強、進路などの相談申し込みです。

ところが面接の中で必ず触れられるのが「親」への思いです。父への尊敬の念と失望感、母への甘えたい気持ちと存在のうっとうしさ、迷惑をかけたくないという微妙な感情の揺れ動きです。思春期は自立したいと誰もが思っています。友人と込み入ったことは話したくないし、親も子のプライバシーに気を遣って、深入りを避けようとしています。しかし、まだ精神的に十分には自立していないのです。

春休みは今年度のまとめとして、親子の有り様を再検討してみる時期でもあるように思います。

(カウンセラー)



教職員の異動

今年度末に多くの教職員の方々が退職されます。皆さま本当にありがとうございました。今後のご活躍をお祈りいたします。

退職

三浦 芳子 (数学) 在職 11年
 末本 律子 (地公) 在職 4年
(講師期間含む)
 森川 敬介 (英語) 在職 2年

(非常勤講師)

黒川 麻実 (国語) 在職 1年
 小川 征児 (地公) 在職 1年
 田中 理代 (理科) 在職 7年
 花野 靖代 (理科) 在職 1年
 八納 由美子 (英語) 在職 2年
 飯塚 夏来 (情報) 在職 4年

(事務職員)

上根 知紗 在職 6か月

(技術職員)

藤村 順一 在職 1年2か月

4月の行事予定

1	金	ハワイ研修
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	入学の日
8	金	始業の日 イースター始業礼拝 第1次スクリーニング
9	土	授業開始 中1オリエンテーション
10	日	
11	月	中1オリエンテーション 中1学力推移調査
12	火	
13	水	45分授業 学級懇談会
14	木	尿検査 高3内科検診(5~7限呼び出し) ダンスミュージカル部春の公演
15	金	
16	土	中学演劇部春の公演
17	日	中高吹奏楽部定期演奏会
18	月	中2内科検診(5,6限呼び出し)
19	火	尿検査
20	水	
21	木	高1内科検診(5~7限呼び出し)
22	金	
23	土	ゲーンズデー 高校演劇部春の公演
24	日	中高マンドリン部定期演奏会
25	月	中3内科検診(5,6限呼び出し)
26	火	高1合宿 水曜授業
27	水	遠足 中1合宿
28	木	
29	金	昭和の日 高3進研記述模試
30	土	

今月の聖句

彼が刺し貫^{つらぬ}かれたのは
 わたしたちの背き^{そむ}きのためであり
 彼が打ち砕かれたのは
 わたしたちの咎^{とが}のためであった。
 彼の受けた懲らしめによって
 わたしたちに平和が与えられ
 彼の受けた傷によって、わたしたちは
 いやされた。

(イザヤ書 53 章 5 節)

(聖書科 Y. I)

4月 7日(木)・入学の日

[中学]

(新中2. 3) ・旧クラスで前年度の教室に入る。
・靴は旧クラスの出席番号で2、3年の靴箱へ

SHR 8:20～8:25
大掃除 8:30～9:20

(新中2) 終礼、下校

(新中3) HR集合 9:30
ホール着席完了 9:45
入学礼拝 10:00～11:00

[高校]

(新高2. 3) ・旧クラスで高2は3階、高3は4階の教室へ
・靴は旧クラスの出席番号で2、3年の靴箱へ

SHR 12:00～12:10
大掃除 12:10～12:40

(新高2) HR集合 13:00
ホール着席完了 13:20
入学礼拝 13:30～14:30

(新高3) 時間割作成作業(各教室)
13:00～13:50

(新高1)

高校校舎昇降口前受付 12:30～
HR集合 12:50
ホール着席完了 13:25
入学礼拝 13:30～14:30
HR(各教室) 14:40～15:50
保護者オリエンテーション(ホール) 14:40～15:50

